



—日本の空を支える—
国土交通省 航空局

空港技術職



国家公務員
一般職（技術系）採用案内
[土木・建築・機械・電気]



国土交通省

東京航空局／大阪航空局



日本の空を支える Civil Aviation Bureau



MISSION

航空局の役割・使命

航空輸送は、身近な 高速交通手段の一つとして定着し、その意義は人・文化・情報の交流と物流を支え、国内はもとより、広く海外まで広域的にカバーした信頼性とスピードを持った、グローバルな交通機関として飛躍的な発展を遂げています。

また、航空機が翼を休める空港は、地域の産業発展、地域の文化、情報交流の基盤であり、災害時などの輸送拠点としての役割も担っています。これらの役割は、充実した航空ネットワークや安全運航、定時制が確保されて機能するものです。

一方、空港周辺では、「地域との調和・融合を図り共に在りたい」をテーマとした整備も重要なものとなっています。このような状況と未来を見据え、日本における航空機の安全運航に必要な施設の整備と定時制の確保に必要な施設の整備を行い、空港においては、輸送基盤としてのアクセスやアメニティの向上など都市機能と直結した施設の整備を図り、利用者に優しく魅力ある空港づくりを目指しています。

私たちは、「日本の空」の安全・安心の確保と、航空輸送の発展をこれからも支え続けます。

PROMOTION PROJECT

計画推進



我が国の国際競争力の強化に資する強靱な航空ネットワークの実現

- ① 空港整備事業等
 - ・首都圏空港や地方空港等の機能強化、防災・減災・国土強靱化等
 - ・空港経営改革の推進
 - ・航空路整備事業
 - ・空港周辺環境対策事業
- ② 人材確保・育成、処遇改善等の取組の推進
 - ・グランドハンドリングにおける人材確保・育成等
 - ・保安検査の量的・質的向上の推進
 - ・操縦士・整備士の養成・確保対策
- ③ 国内航空ネットワークの維持・確保に向けた取組の推進
 - ・国内航空の今後のあり方に関する検討
 - ・地方航空路線維持・活性化の推進
- ④ 離島の航空輸送の確保

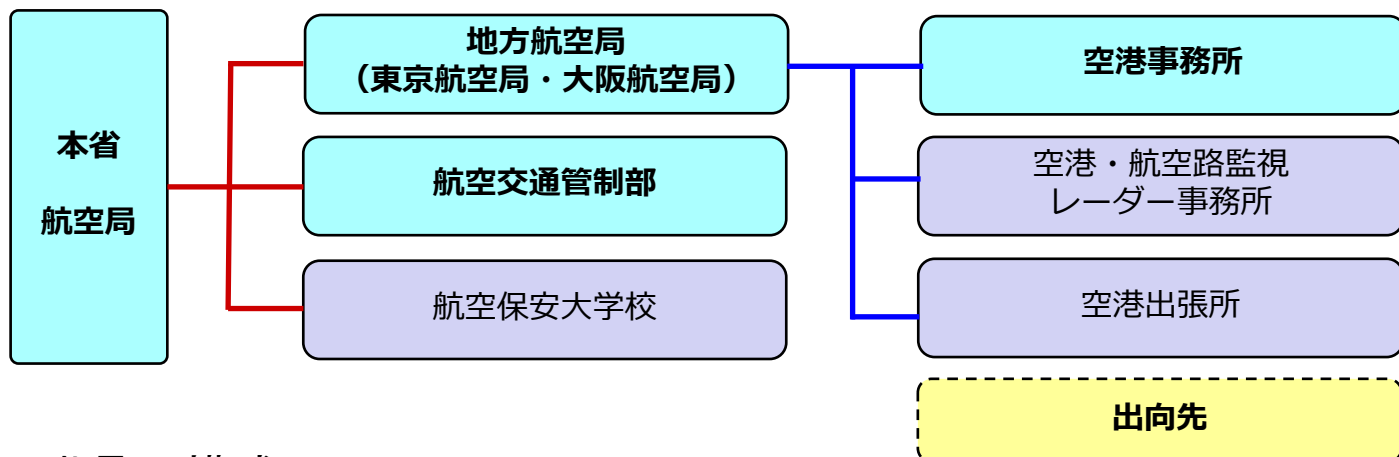
航空の安全・安心と持続可能性の確保

- ① 羽田空港での航空機衝突事故を踏まえた更なる安全・安心対策の推進
- ② 令和6年能登半島地震を踏まえた防災・減災対策
- ③ 運航分野・空港分野における脱炭素化の推進
 - ・持続可能な航空燃料(SAF)の導入促進等
 - ・空港施設・空港車両からのCO2排出削減等
- ④ ICAOとの連携を通じた我が国のプレゼンス向上

航空DXを通じた利便性の高い航空サービスの実現

- ① FAST TRAVEL等空港業務DXの推進等
 - ・FAST TRAVELの推進等
 - ・先進技術の導入による空港業務の省人化・自動化の推進
- ② 空飛ぶクルマ・ドローン等の運航拡大に向けた環境整備等

■ 航空局の組織



■ 職員の構成

一般職（技術系：土木・建築・機械・電気）

職種	業務内容	主な配属先
土木	滑走路、誘導路、エプロン及び構内道路の他、進入灯橋梁、共同溝及び貯水槽など、空港の地上・地下にある様々な土木施設が常に安全で円滑に機能するようきめ細やかな点検・維持管理を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、出向先（地方整備局等）
建築	管制塔・庁舎、無線局舎等の建築施設整備及び保全業務のほか、空港整備計画の企画立案業務や空港周辺の環境対策事業等の業務を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、出向先（成田国際空港㈱、中部国際空港㈱、新関西国際空港㈱）
機械	国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な機械施設、特殊車両の管理、運用、保守に関する企画、立案、調整、監督、検査等の業務を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、航空交通管制部
電気	航空灯火、管制塔・庁舎、無線局舎等の電気施設の整備及び保全業務のほか、空港整備計画の企画立案業務、航空障害灯等の指導及び航空灯火の航空法に基づく検査に係る業務を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、航空交通管制部

（一般職行政：事務）



（航空管制官・航空管制技術官
・航空管制運航情報官）



（航空保安防災・操縦・整備）



■ 主な空港及び勤務地

・空港技術職は各地の空港事務所や東京・大阪の地方航空局、東京霞ヶ関の本省航空局等で勤務しています。

・空港という非日常的な空間で航空機の離発着を感じながらの業務は魅力的です。

また、様々な地域での生活は、各地の文化や人々との出会いを通じて新たな発見をもたらしてくれるとともに、交友関係の幅も広がります。なお、定期的に勤務地に関する希望を提出する機会を設けており、希望については可能な限り配慮しています。

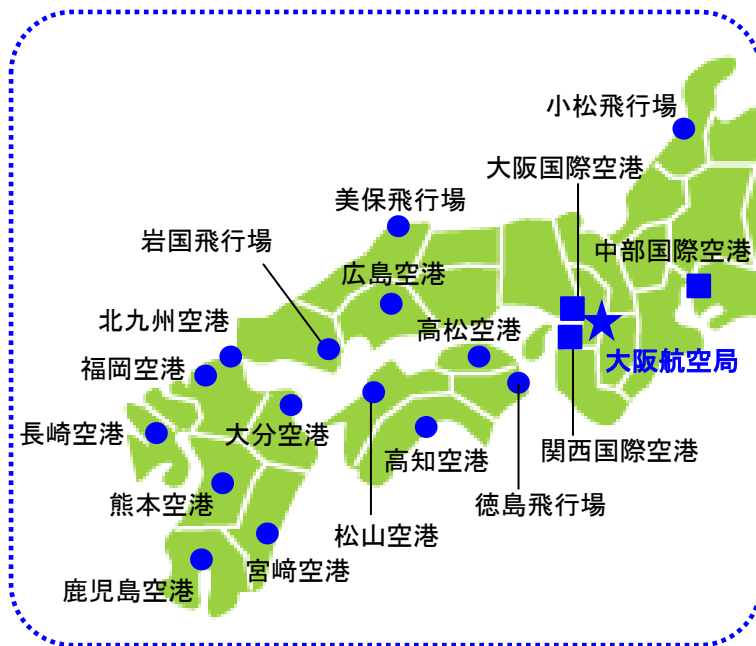
(注意)

職種により勤務地が異なりますので、詳細は各職種の採用担当者にご確認願います。

東京航空局管内



大阪航空局管内



■ ■ … 会社管理空港
● ● … 国管理空港／共用空港(飛行場) ※一部民営委託している空港を含む

空港には各専門の技術者が担当する
 「滑走路、誘導路、駐機場等の土木施設」
 「管制塔・庁舎、無線局舎等に関する建築施設、機械施設、電気施設」
 「空港の航空灯火施設」
 が設置されています。

■空港の施設／空港技術者

離着陸の安全と利用者の利便を確保

空港は、滑走路や誘導路などの航空機の離着陸に必要な基本施設、旅客の乗降や貨物の積み降ろしを行う空港ターミナル施設、航空機の離着陸を援助するための航空保安施設、管制を行うための管制施設、庁舎や管制塔などの管理施設、鉄道やアクセス施設等から構成されており、これら多くの施設や設備が一体となって機能することによって安全な航空輸送を支えています。

空港技術者の業務は、空港管理・運用に関する施設の整備・維持管理業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督や空港周辺環境対策など幅広いものとなっており、空港技術者としての技術力と合わせて適応力、器用さが求められる職種です。



管制塔・庁舎



旅客ターミナルビル



立体駐車場



格納庫



無線レーダー



無線局舎



空港特殊車両



機械施設監視装置



進入灯橋梁・航空灯火

滑走路、誘導路、エプロン及び構内道路の他、進入灯橋梁、共同溝及び貯水槽など、空港の地上・地下にある様々な土木施設が空港の機能を支えています。これらの施設の計画、整備また施設が常に安全で円滑に機能するようきめ細やかな点検・維持管理を行っています。

- 空港スペシャルな施設** ✈️ 航空灯火施設や航空無線施設の**基盤となる空港内にある特殊性**の強い橋梁や用地、また滑走路、誘導路、エプロン及び共同溝など空港の地上・地下にある土木施設の**計画、整備**を行い、その施設が常に安全で円滑に機能するよう**点検・維持管理**を行います。
- 強靱な施設** ✈️ **航空機**の離着陸に必要な滑走路は、大型重量級機材が高速走行で離陸し、強い衝撃で着陸を行います。私たちは**空港に必要とされる高強度**の舗装を整備・維持管理します。
- 空港というまちづくり** ✈️ 空港用地は**広大**であるため、**まちづくりの基盤整備**のように、電源供給や排水施設の地下埋設施設を整備・維持管理します



先輩職員より

東京航空局 空港部 土木課所属 (令和2年度採用)

航空局土木職を選ばれた理由、仕事の面白み、やり甲斐は？

大学で土木を専攻していた関係で土木職の公務員を目指しておりました。非日常空間である空港において専攻してきた分野を生かすことができるところに強い感銘を受け、航空局に就職しました。航空局土木職は空港土木施設の維持管理、整備に限らず、空港維持車両の自動運転化、DX等の新技術に携わることができるほか、海外の空港展開等、国際色豊かな部署で働くこともできることが魅力であり、また、自分の携った案件が空港において目に見える形で残っていくため、微力ながら空港の発展に貢献できていると感じるところにやりがいを感じています。

大阪航空局 那覇空港事務所 施設運用管理官所属 (令和6年度採用)

航空局土木職を選ばれた理由は？どんな仕事を行っているの？印象に残っていることは？

「空港を“使う側”から、“支える側”へ。」

幼少の頃より航空機が大好きで空港での仕事に興味がありました。専攻していた土木分野で学んだ知識を、空港という特別なフィールドで活かせることに魅力を感じ、航空局土木職を志望しました。現在は滑走路等の点検・補修などの維持管理や工事監督に携わり、航空機の安全な運用を支えています。業務では普段立ち入ることのできない滑走路に入り、広大な面積を管理している実感を得るとともに使命感を強く感じました。大きな航空機が行き交う中で働くことに始めは驚きましたが、点検・補修などが無事に終わり、日々航空機が離着陸している姿を見ると、空港の施設を管理する重要さややりがいを感じます。

空港管理・運用の拠点となる庁舎・管制塔、航空保安施設を格納する局舎、空港の消火救難体制の要となる消防庁舎、維持作業用車両格納のための各種車庫等の様々な建築施設の営繕業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、災害対策や空港周辺環境対策など幅広い業務を行っております。

建築職の主な業務は、空港建築施設のうち、国が設置管理する管制塔・庁舎などの整備及び保全業務です。

計画(予算要求等) ⇒ 設計(発注・仕様書等作成) ⇒ 工事(発注・工事監理) ⇒ 保全(点検・修繕等)



管制塔整備事例



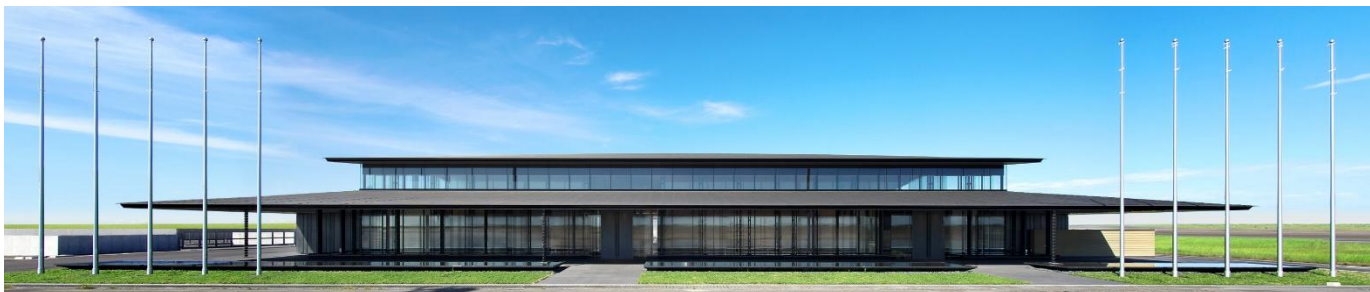
管制塔建設



CGによる視認性の検討



模型を用いた風洞実験



貴賓室整備事例

※国賓及び公賓を接遇するための施設

先輩職員より

大阪航空局 空港部 建築課 所属（平成14年度採用）

大学では何を専攻されていたのですか？

環境工学で熱による空気の流れについて研究していました。今考えると、構造力学をもっと勉強しておけばよかったと思います。建物の新築や耐震改修時の役に立ちますから。ただ、仕事内容は、新築、増築、改修、撤去があり、改修でも外部改修、内部改修、耐震改修、レーダー免震改修などいろいろな業務がありますので、仕事をしながら勉強していかないと行けません。入省後に様々な知識が身につきました。

今までで印象に残っている仕事は？

入省4年目くらいだったと思いますが、北九州空港事務所庁舎新築工事の担当になりました。発注までは積算業務などで残業が続きました。現場が始まってからも、新築工事が初めてでしたので、分からないことがたくさんあり、苦労しました。また、北九州空港は海上空港であることもあり、海上環境ならではの対応に戸惑うこともありましたが、建物が徐々にできていくのを見ることができ、完成した時は達成感を感じました。航空局では、設計・積算から工事まで担当しますので、できあがったときの喜びは大きいです。

後輩や新人に向けたアドバイスはありますか？

係長になってから以降は、新規採用者に仕事を教えながら業務を一緒に行っております。皆さん、まじめでしっかりしています。ただ、全体的に大人しい印象があります。仕事では、業者や関係各課と調整しないといけないので、趣旨をしっかり理解し、相手に伝えられるようになって欲しいです。



略歴

平成14年 大阪航空局
土木建築課採用
平成18年 1年間育児休業
平成20年 大阪空港事務所
↳
令和3年 東京航空局建築室
令和5年 大阪航空局
空港企画調整課
など

航空局の機械職は、航空機の運航や空港の運用を支えるために、専門の技術職として国が管理する空港などに設置する機械施設の工事や運用・保守、特殊車両の製造・保守などを主体としつつ、空港整備計画や空港の安全監督など幅広い業務にも従事しています。

機械職の主な業務は、国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な電源設備などの機械施設の整備・管理・運用・保守及び、消火救難車両などの特殊車両の製造・保守です。

計画(予算要求等) ⇒ 設計(仕様書作成・発注等)・工事(発注・工事監督) ⇒ 運用・保守(点検・修理等)



万が一に備える消火救難車両



航空輸送の安全安心を支える電源設備



空港機能を担う機械設備



機械職の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています



庁舎・管制塔などの建築設備

先輩職員より

大阪航空局 保安部 交通管制機械システム室 所属（平成30年度採用）



機械職の業務の魅力とは？

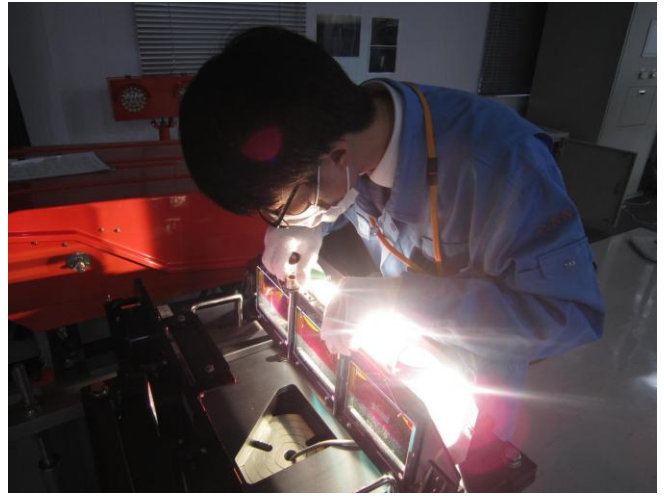
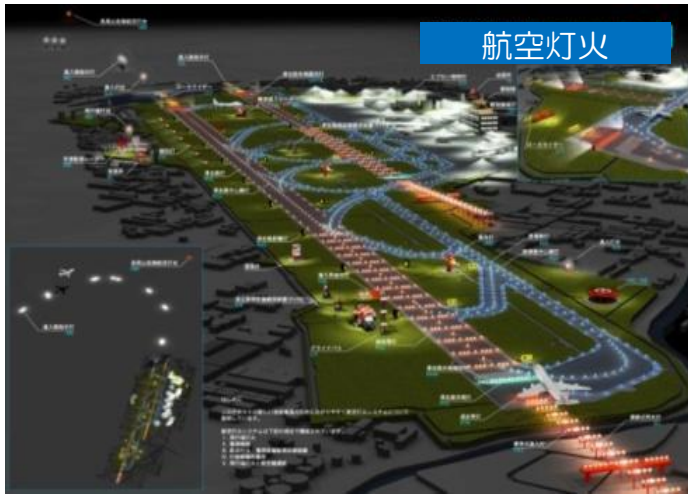
交通管制機械システム室では発電設備、無停電電源設備など航空機の運航や空港の運用を中断させないよう、いつでも安定した電気を供給するための電源設備の維持管理業務・設計業務・工事業務を行っています。

ひとつのトラブルが大きな影響を与えるという緊張感がありますが、自分の携わった業務、設備が空港全体を裏から支えていると思うと仕事にやりがいを感じます。

また、機械職は北から南まで管理している施設がありますので、プライベートではなかなか行くことのないような場所に行けたり、景観や食べ物、その土地ならではの生活が楽しめます。

航空灯火や電気施設の運用・管理、保全、整備に係る企画、立案に関する業務に関する業務に従事しています。他にも、航空灯火の設置管理者に対し、航空法に基づく検査、また、航空障害灯、昼間障害標識や類似灯火を設置する者に対し、指導業務を実施しております。

電気職の主な業務は、国が設置管理する航空灯火電気施設の運用・管理、整備です。



先輩職員より

東京航空局 保安部 航空灯火・電気技術課所属（令和5年度採用）



航空局を選ばれた理由は？

インフラの統括に関わる仕事に興味があり、学生時代に電気分野を専攻していたため、インフラ設備の電気施設を統括する仕事に従事したいと考えておりました。その中で航空局を選んだ決め手は、当局的業務に特別感・非日常感があったからです。空港の滑走路等に立ち入ることや、行ったことがない離島の空港に出張するなど、業務を通じて普段は経験できないことを体験できることがとても魅力に感じました。

今、どんな業務を担当しているの？

現在は東京航空局で勤務し、割り振られた担当空港の工事計画に従事しており、工事費用の積算や設計図の作成、工事・設計業者とのスケジュール調整等を行っています。また、高い建物や鉄塔等に設置されている航空障害灯や昼間障害標識の相談窓口にも携わっており、設置に関する相談対応を行っています。東京航空局の前は空港事務所勤務していたため、現場で経験したことを活かし業務に励んでいます。



FAQ よくある質問

Q 1

求める人材を教えてください

日々発展する航空を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる「応用力」、航空局ならではの多様な職種の間と協調できる「コミュニケーション能力」、どのような仕事にもポジティブに取り組む「前向き力」を持っている人を求めています。

Q 2

航空局の魅力を教えてください

全国の空港事務所では、空港という非日常的な空間で航空機の離着陸を横目で見ながらの勤務を経験し、また地方航空局や本省航空局では航空行政に関する企画・立案業務を経験することで、日々発展していく「航空」の世界のスケールの大きさを肌で感じながら、様々な地域・業務の経験を通じて成長していくことができます。

また、多様な職種と全国の様々な地域の仲間との出会いが多いため、交友関係の幅も広がります。

Q 3

転勤について教えてください

全国各地の空港事務所や地方航空局、本省航空局などが勤務地になりますので、転勤先によっては転居を伴う場合があります。

転勤は2～3年ごとにありますが、定期的に勤務地及び職務に関する希望を提出することができます。

Q 4

勤務時間はどうなっていますか

1日の勤務時間は7時間45分です。土日・祝日が休日となります。

勤務時間は原則8時30分～17時15分（昼休1時間）、本省や地方航空局などでは勤務時間（9時00分～17時45分など）を選択できる官署もあります。

土木職、機械職、電気職では、空港事務所の勤務において施設の点検を空港の運用や航空機の運航への影響を考慮して夜間に実施するため、これに立ち会う場合があります。

また、空港事務所の土木職、機械職、電気職の一部の職員は24時間の交替制勤務で業務を行っています。

Q 5

休暇制度について教えてください

有給休暇は年間20日（4月採用は15日）の年次休暇が付与されます。

特別休暇は、結婚・出産・育児など休暇や7月から9月に3日間取得可能な夏期休暇、その他に育児休業や病気休暇、介護休暇の取得が可能です。

また、航空局では職員が生活を楽しみ、仕事と家庭を両立しやすくなるように「ワークライフバランスの推進」に積極的に取り組んでいます。

本ページはお問い合わせの際のメモにご活用ください。

<p>土木</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東京航空局 土木課 ☎ 03-5275-9295 ✉ tcab-saiyou.doboku@ki.mlit.go.jp ●大阪航空局 土木課 ☎ 06-6937-2733 ✉ ocab-saiyou.doboku@ki.mlit.go.jp 	
<p>建築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東京航空局 建築課 ☎ 03-6685-3005 ✉ tcab-saiyou.kenchiku@ki.mlit.go.jp ●大阪航空局 建築課 ☎ 06-6937-2734 ✉ ocab-saiyou.kenchiku@ki.mlit.go.jp 	
<p>機械</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東京航空局 機械課 ☎ 03-5275-9294 ✉ tcab-saiyou.kikai@ki.mlit.go.jp ●大阪航空局 機械課 ☎ 06-6937-2735 ✉ ocab-saiyou.kikai@ki.mlit.go.jp 	
<p>電気</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東京航空局 航空灯火・電気技術課 ☎ 03-6691-9309 ✉ tcab-saiyou.denki@ki.mlit.go.jp ●大阪航空局 航空灯火・電気技術課 ☎ 06-6937-2766 ✉ ocab-saiyou.denki@ki.mlit.go.jp 	

案内図

- 東京航空局
東京都千代田区九段南1-1-15
九段第二合同庁舎
地下鉄「九段下駅」下車 徒歩5分



- 大阪航空局
大阪市中央区大手前3-1-41
大手前合同庁舎
地下鉄「谷町四丁目駅」下車 徒歩5分

